

松本市から医療・介護等の要望に対する回答書届く

松本地区社保協が松本市に提出した「医療、介護、福祉等の制度改善や障がい児・者の支援等に関する要望について」（10/3提出）に対する回答書が11月12日届きました。

国保等の改善要望は、多くが実質上ゼロ回答

同日開かれた第5回幹事会で回答内容について分析を行いました。国保等の改善要望では、保険税の引き下げ、減免制度の拡充等に関しては、ゼロ回答。一般会計からの法定外繰入については「今後、収支の状況等を踏まえ、判断」としており、実質上ゼロ回答でした。短期保険証の交付数は、1239世帯、1771名（18年3月末）と、依然として多くの方に



↑写真は去年の懇談会

交付されており、交付基準の改善については、ゼロ回答。一部負担金制度の拡充についても、ゼロ回答。無料低額診療の拡大等についても、ゼロ回答でした。

国保運営協議会の公募枠の新設と1名の委嘱が実現

上記のように実質上のゼロ回答が多い中、国保運営協議会の議事の公開や松本市の国保の状況に関する資料の公開や国保運営協議会の公募枠の新設にもとづく、1名の委嘱の実現など重要な前進がありました。尚、公募者に松本民主商工会会長の松崎さんが委嘱されました。

その他、後期高齢者医療の改善、介護保険・高齢者施策の改善、生活保護の改善、子どもの医療費助成制度の拡充、障がい児・者施策の改善への詳細な回答がありました。内容は次号に記載します。

回答書にもとづく、松本市との懇談は、12月に実施

回答にもとづく、松本市との懇談日程について現在協議中です。松本地区社保協では、松本市に対して、①国保・後期高齢者医療に関する事項、②介護保険に関する事項、③生活保護・子ども医療費、障がい者施策等に関する事項、以上3分野について個別の懇談を要請しています。

松本市の窓口担当者からは、現在担当課と日程を調整中で、期日は12月にずれ込むとのことでした。懇談日程が決まり次第、お知らせします。その際は大勢の方の参加をお願いします。

後期高齢者医療2割化反対の意見書採択を求める 市町村議会への陳情書提出（11/15）

松本地区社保協では、後期高齢者医療の窓口負担2割化に反対する運動を強化しようと国会への請願署名に取り組みつつ、地方から反対の声を上げるため、中信地区の市町村議会に陳情・請願活動を展開しています。大北圏域には、年金者組合大北支部、木曽圏域には年金者組合木曽支部に依頼し、松本圏域は松本地区社保協が担当しています。社保協事務局では、11月15日松本圏域の筑北村、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、安曇野市、塩尻市の2市5村の議会事務局に陳情書を提出しました。このうち、安曇野市と塩尻市議会には、担当委員会の意見陳述の申し込みをしました。尚、松本市議会には、請願書を提出します。



長野県社保協国保改善運動交流会
2019年1月19日（土）9時半～12時
松本市勤労者福祉センター3-3会議室
次年度の国保改善運動の強化めざして

長野県社保協第24回総会、記念講演会
2019年2月16日（土）午前：総会
午後：記念講演会（講師：浦野広明税理士）
長野県教育会館3階大会議室